

淀川水系流域委員会 様

川上ダム早期完成を特に要望する者として意見を述べます。

川上ダム上流に住む者としてダム早期完成は悲願です。ダム建設が持ち上がって40年当初水没地域「川上集落」を中心にダム反対の闘争が相当続きました。しかし下流の「高倉・小田」地域の大雨による浸水を救うために、また利水を切望する地域にと当時建設省のたび重ねる説得に地元として少しずつ理解を深め最終的にダム建設を受け入れた経緯があります。

こうした事情からこの間、道路は未整備、自然環境はほったらかしの状態が今の現状です。この悪環境にあつて若者は去り地域は老人を中心とした過疎地域と急変してきたのです。今更時代の変化だと言って、環境を守ると言って、この建設予定のダム上流に居住しない人達の身勝手な意見に終始するのは如何なものかと思います。住民のみんなの方が一日も早いダム完成を待ちわびているのです。環境がどうなっても良いと言うものでありません、そのために水資源機構は現代の科学を駆使して調査研究され、これを受けて国土交通省は建設をすると決定したのであります。

言いたいことは山ほどありますが、くどくど申し上げることはしません。上流住民としては、今の現状から一日も早く脱したいのです。どうか川上ダム早期完成に向けての地元住民の要望を受け入れて頂きますよう宜しくお願いいたします。

平成17年10月10日

伊賀市
平田 忠幸